

恵那市の角野製作所と地域再生機構

健全な水環境実現に貢献する取り組みをたたえる日本水大賞(国土交通省など主催)で、金属切削加工の角野製作所(恵那市長島町)とNPO法人地域再生機構(同市三郷町)は、経済産業大臣賞を受賞した。小水力発電装置の研究開発、ミャンマーでの普及活動が評価された。

(三輪真大)

角野製作所は、同機構の協力で水路などに設置できる小型水力発電装置「ピコピカ」を開発。ペットボトルキャップを再利用して作った螺旋状の羽根が水中で回り、発電する仕組み。低い落差でも発電できるのが特徴。国連工業開発機関(UNIDO)の環境技術データベースにも登録され、ミャンマーでの普及にも乗り出している。

応募総数142点から、初応募で受賞した。市役所へ報告に訪れた角野秀哉社長は「こういった活動を国内のみに限らず、世界に向けて発信していくこと、東野地区で進む小水力発電装置の設置の動きに期待を示した。」

日本水大賞で 経産大臣賞

小水力発電装置を開発、普及

受賞報告に訪れた角野秀哉社長(左端)ら 恵那市役所

